

今日のわだい

- 【1面】2014原水爆禁止世界大会
核廃絶・平和な社会へ
- 【2～3面】各県労組委員長より
この1年間を振り返って

全厚労ニュース

全国労働組合連合会
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>



アピール署名を持ってNYへ、と決意表明する参加者たち

参加者の声

○初めての参加だったので不安でしたが、他県の方とも話が出来て楽しく、とてもためになる充実した3日間でした。小さい頃から広島原爆の事は聞いていましたが、被爆者の方の生の声を聞き、遺跡めぐりなど目で確認できたことがとても良い機会となりました。福島も放射線なんかに負けないぞ！忘れられないためにもっと声を出して伝えていかなきゃ!! (福島)

○来て良かったです。また来て違った人からのお話も聞いてみたいと思います。全厚労に所属する皆さんは一度は絶対来るべきだと思います。自分も何で今まで来なかったのかとありますが、この歳だから来たのかもかもしれません。集団的自衛権の容認が戦争につながらないという絶対はないような気がします。火のないところに煙は立ちませんから。今の日本がどうしていけないのか! (長野)

○全世界、国内からこんなにも多くの方が参加されていると思わなかったのが、驚いた。坪井さんの話は私が聞いた原爆の被害者で初めて直接のものであったので、胸に突き刺さる思いがした。原爆がこのまま使われれば地球もなくなってしまう。自分や愛する人が一瞬でいなくなるこの恐ろしさやその後の苦しみについて、もっともっと多くの人が話を聞いて欲しいと思った。私たちが二度とこんなことがないように協力、努力しなければならぬと感じた(長野)

○平和の行動：(原水爆禁止)の意味を考え、気持ちをもち続けることが大切だと思った。一人ひとりの力では何も出来ないかもしれないが、小さな力で大きなうねりとなるよう行動していく必要があると思った。(三重)

8月6日7時半、43年ぶりの雨の中で全厚労代表団は、「原爆の子」像の下に各々で折り鶴を奉納し、広島市の平和記念式典に参加しました。

その式典で、安倍首相が読み上げた「あいさつ」は、直接聞いていてもなんとも気持ちのこもっていない発

言だと感じました。また被爆者団体から「集団的自衛権行使容認の閣議決定は被爆者の願いに背くもの」と撤回を求めたことに対し、「見解の相違」と一蹴したことにも被爆者はもちろん、私たちも怒りを覚えるを

得ませんでした。安倍首相の挨拶と対応は長崎でも同じでしたし、8月15日の「終戦記念日」での挨拶では、歴代首相が触れてきた「不戦の誓い」が2年経って消え、「平和の誓い」と言っごまかして

います。「核兵器廃絶」だけでなくもっと広く「戦争させない」「命を守る」取り組みが必要だと感じた8月でした。これからも「全厚労ニュース」は、命と平和の課題に取り組んでいきます。

原爆被爆から69周年を迎えた8月4日～6日の3日間、広島市で「原水爆禁止2014年世界大会・広島」が行われました。4日の開会総会、6日の閉会総会ともに約7000人が集まり、全厚労からも8県41名が参加し、各種の分科会にも参加して被爆の実相や各地の運動を学び、「核兵器廃絶・脱原発」などの思いを新たにしました。



全厚労の参加者がNHKのインタビューを受ける (8月6日)

核廃絶・平和な社会へ

みんなで行動しよう

「戦争する国」づくり許さないぞ!

全厚労 第28回幹部・看護師集会in富山

集会テーマ 楽しく働くために、みんなで知って行動しよう

日時 2014年10月10日 13時半～11日正午

場所 富山県・砺波ロイヤルホテル

費用 2.2万円(全日程)

記念講演 笑いの効果に学ぶメンタルヘルス&コミュニケーション

講師 三遊亭楽春さん

【講師プロフィール】

■三遊亭楽春 (さんゆうていらくはる) 落語家・真打
■1963年まれ ■1985年・先代の五代目円楽に入門
■1992年・真打に昇進
■資格：メンタル心理カウンセラー、産業心理カウンセラー、上級・食育指導士、生活習慣病予防アドバイザー、健康生活支援講習支援員。
■全国経営者団体連合会スペシャルアドバイザー。
■三遊亭楽春公式サイト <http://homepage3.nifty.com/rakuharu/>
日本全国への出張落語会を積極的に行い、落語を広める活動をしています。笑いの効果や、伝統芸の教えを活用した、「笑いと健康のメンタルケア講演会」、「コミュニケーション術講演会」は好評で、多数のメディアで紹介されています。人気講演番組「テレビ寺子屋」(フジテレビ系列)に、落語家としては異例の過去4回出演し、講演が全国ネットでテレビ放送されました。





谷は10月から地域包括ケア病棟を導入することになります。

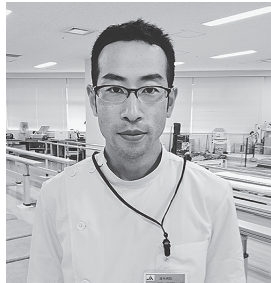
来年度は、病院が地域の中で信頼され、地域住民が医療・介護を考えあえるように、支部から地域に発信できるようにしていきたいと思っています。

両支部の交流を深めそれぞれの病院の発展方向を全体で考えていけたらと思います。何より、労働組合活動への参加者を増やしていきたいです。

◆◆◆◆◆ 今の時代の 「労働組合」に ◆◆◆◆◆

静厚労 山下裕太郎

私は普段、現場の理学療法士をしています。私を感じる、今の若いスタッフの傾向として、教育背景や時代背景、インターネット、メールなどの環境要因により、Face to Faceでのコミュニケーションの希薄化が起こっていると思います。結果的に職場の飲み会や集まりに参加しない、休日一人でも過ごすなど。



仕事姿の山下さん

話は変わりますが私も執行委員長となつて2年が過ぎ、この8月に退任となりました。複雑な思いを抱えつつ第一線は退きますが、これまでの経験を生かしながら組合活動は続け、サポート役に回りたいと思っています。今までお世話になった方々、本当にありがとうございました。

◆◆◆◆◆ 地域で必要な 厚生連へ ◆◆◆◆◆

愛厚労 奥平 正美

日本の医療は、慢性的な医師・看護師不足が継続しています。その中で、2025年問題という言葉をよく聞くようになってきました。ご承知のとおり、2025年問題とは、団塊の世代が75歳に達する年とされ、その時には2100万人を超え、病院を受診される方が多くなり、結果として医療が立ち行かなくなる危機感が広がっています。

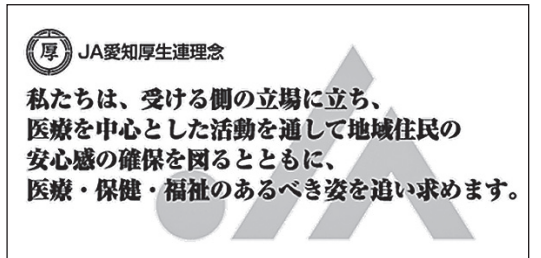
◆◆◆◆◆
このような事態を起こさないよう医療の在り方を見直そうという動きが活発化されてきています。病院から在宅への転換を掲げる一方で、地域で必要とされる医療機関の集約化が予測されます。このような時だからこそ、厚生連医療の原点に立ち返り、地域で必要とされる厚生連病院を目指していかなければならないと思います。

◆◆◆◆◆ 医療労働組合とは、 を胸に45年 ◆◆◆◆◆

三厚労 伊藤 岩吉

若い頃から労働組合活動に携わりもう45年、今年で執行委員長を降り、来年からは顧問で残りの組合活動を終えることになりました。

高校卒業後入った会社の組合は会社べつたりの「組合役員になれば出世する」という組合で3年弱、放射線の学校を経て病院に入ると同時に組合活動に携わってきました。



労使ともに追求している厚生連理念

その間、三厚労は親睦会的な組合から闘う組合、協調から協働を目指す組合へと変わってきました。

若いときは青年部で親睦を、執行委員、役員の時は賃金闘争、手当、夜勤協定締結など、一時は人事制度構築のために人事課に席を移し、その後組合専従で書記長、執行委員長と任を重ねてきました。それは一人の放射線技師から病院を見、会全体を見、そして専従として組合全体と会を見、社会を見る立場に変わってきたと云うことです。

その間、「労働組合とはなんぞや？医療の労働組合とは！」という命題が常にあったことを報告して、次の世代の人たちに期待したいと思っています。

また本年度全厚労定期大会の担当県となつていきます。行き届かない事も多くあると思いますが、よろしく願います。



昨年の全厚労定期大会で特製バッジになった伊藤さん

◆◆◆◆◆ 厳しい闘いを 全組合員で ◆◆◆◆◆

広厚労 岩本 一宏

本年度、広島県では経営状況が悪く、労働組合としては多難な年でした。その中で夏期一時金交渉は、前年度実績2・1ヶ

春闘白衣テモ集会で挨拶する岩本さん



月に対し、1・8ヶ月の回答という今までにない回答がありました。

しかし全組合員、執行委員が2・0ヶ月を目標とし、50名を超える団体交渉で、どうにか2・0ヶ月を死守する事ができ、団結の重要性を改めて認識した年となりました。

来年度もきびしい一年となりそうですが、団結して頑張っていきます。

また本年度全厚労定期大会の担当県となつていきます。行き届かない事も多くあると思いますが、よろしく願います。

◆◆◆◆◆ 医療再編・ 合併進む中で ◆◆◆◆◆

徳厚労 大栗 陽

2013年度の徳厚労の活動としては、近年になく春闘でのベア要求を掲げ交渉したことが大きかったと考える。政府与党の後押しや世論一般の風潮もあったことがあるが、全国的には医療・介護の現場での待遇改善には至らなかった。徳厚労も看護師の夜勤手当アップが達成されたことはせ

めてであった。春闘パレードや学習会・集会など地道に活動されてきた組合員の一人一人の努力の結果であると考えたい。

さて現在、徳厚労はもちろん徳島厚生連は、3病院を取り巻く環境が変化し始めている最中である。JAの組織自体の改革が取りざたされる中、徳島厚生連では、阿波病院での医師不足による病棟再編問題（それに伴う異動や配置転換）には予断を許さない状況であるし、協同病院の新築移転、そして、共栄病院と阿南医師会病院との合併問題である。私自身、医師会病院の執行委員会に入らせてもらっているが、企業文化の違う中、同じ医療組織というだけではうまくいかないこともあると考えている。大切なのは同じ労働組合の仲間が相互理解しあっているというプロセスである。

◆◆◆◆◆ 心強かった 各県の励まし ◆◆◆◆◆

高厚労 清遠由美子

この1年は経営状況の悪化で「2人夜勤」の話や「年末一時金の減額」に始まり、悪雲たちこめた中での始動でした。今までになく「団交」・「事務折衝」を繰り返し、組合新聞も何枚も発行し最高にがんばった年です。

しかし、頑張りむなしく納得する成果は上げられませんでした。各県の執行委員の皆様にはたくさんのお言葉をいただき、励ましてもらって、とても心強かったです。本当にありがとうございました。



徳厚労・白衣のパレードにて (中央)



2011年の全厚労女性委員会にて (前から2列目一番右)

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第88回は新潟と岐阜にお願いしました。



新潟 柳 幸子さん

新厚労からは今年度、執行委員で看護委員長として、看護師が働き続けられる職場を目指し組合活動をしている柳幸子さんを紹介します。

会議や団交では人員不足で過酷な医療現場の実態を看護師の立場から本気で訴えています。そんなパワフルな柳さんは何事にも真剣に取り組み、組合役員や組合員からの信頼も厚く組合にはなくてはならない存在です。労働組合の大切さ、そして「夜勤協定」の大切さを一人ひとりに知ってもらい、看護師が辞めないで、いつまでも健康で働き続けられる職場を目指し、1人でも多くの看護師が集まるようこれからも活動に期待しています。

岐阜県からは、揖斐厚生病院の看護師の土一嘉久（どいちよしひさ）さんを紹介します。

土一さんは、職場ではICUナースマン・家では一児のパパとして公私ともに頑張っておられます。

労組では、昨年度は支部青年部長として数年ぶりに支部旅行を企画され、今年度は書記長として活躍しています。

とても気さくで頼りがいがあり、皆から慕われています。これからも大きな活躍が期待されており、岐阜県ともどもよろしくお願いします。



岐阜 土一嘉久さん

医労連共済が25周年 26期特別キャンペーンも

7月に行われた日本医労連大会で、医労連共済の第25事業年度報告と第26事業年度活動方針が採択されました。そこでは加入者5万人、加入率30%という目標が確認されています。多くの組合員に「助け合い」制度を広げましょう。

3つの26期特別キャンペーンを実施

- ①共済での説明会で複数以上の加入者があれば、2万円分のクオカードが説明会主催者に進呈されます。加入対象は、新規の個人共済もしくは新規の火災共済加入者です。期間は、2014年7月1日～2015年5月31日です。
- ②日本医労連拡大月間（10～12月、3～5月）に説明会を開催し、火災共済の新規加入者が複数以上あれば3万円のクオカードが主催者に進呈されます。さらに26期の期間（14年7月～15年5月）に火災共済で10件以上の新規加入者を迎えた組織は表彰対象となります。
- ③自動車共済「見積もりキャンペーン」を実施します。新規・増車で「見積もり」を寄せていただければ500円のクオカードが進呈されます。期間は26期中（同上）です。



読者の声

被災地の復興は進んでいると思っ
ていましたが、まだガレキや車、建
物がそのままになっている現状があ
ることを知りました。私の働く場所
もへき地です。スタッフ確保と同時に
に離職防止にも取り組んでいます
が、へき地というだけで人材が集まら
ないのは悲しいです。（北海道）

――厚生連の役割はまさにへき地の
医療を欠かさないことです。そ
こに住む人たちの安心に役立
てるよう日々努力していること十
分に伝わります。そこでの医療
を提供することのやりがいなど
が後世の人たちに伝わると思い
です。頑張ります。（OH）

――原発事故の収束、復興に向けて
政治が力を尽くせ。国民が関心
を持ち続け、現地に足を運ぶこ
とが大事なのではないか。（ON）

――静岡

――もうあの地震から3年経ったんで
すね。何かして助けになりたいと思
いながら何も出来ないまま過ぎてし
まったこの3年、現地の人はまだま
だ苦しんでいるんだと感じました。
時間が経ったからこそ起きている問
題、人手不足、今度こそ自分に出
ることを行っていくたいです。

――久しぶりにクロスワードパズルで
頭の体操をしようと思ったら、ク
イズが魚影クイズに変わっててビ
ックリ！そして少し難しくてさらに
これからも頭の体操になりました。
（富山）

――職場のみんなまで考えながらいつ
も問題を解いています。この問題が
きっかけになってコミュニケーション
が取れ、私の中では様々です。いつ
もありがとうございます。（富山）

――これからいろいろなパターンの
問題を載せていきます。問題も
募集しています。より良いコミ
ュニケーションツールになれるよ
う頑張ります。巻末のお口直し
係より（YN）

――全国の組合員さんのご活躍に感謝
です。ほとんど活動に参加してい
ないですが、今後私生活が落ち着
いたら、参加していきたいと思っ
ています。（広島）

――わたしも毎号、新鮮な驚きがあ
ります。出来る範囲です。地
元の活動に参加して下さいね。
（OK）

ザ★クロスワード

出題●モロズミ勝

答	A	B	C	D	E
---	---	---	---	---	---

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

■ヨコのカギ

- 1 ココ……は熱帯産樹木
- 3 冷たい豆腐料理
- 7 まぶたをパチクリ
- 9 金剛……像は仁王立ち
- 10 部屋の配置
- 12 ハネムーンのことを……月旅行とも言う
- 13 6対4の……で負担する
- 15 ゴム風船などに入れる最も軽い気体元素
- 17 ……に釜を抜かれる
- 19 日本の……単位は円
- 21 皿に乗って回ってきま
- 22 げんこつ。握り……
- 24 特急の指定席と……席
- 26 気品。……のある人
- 28 高校球児が目指します
- 29 千里の……も一歩から

- 27 酒
- 25 サケやマスなどの卵を塩漬けにした食品
- 23 機械や器具でその一部をなしている品
- 21 胃が4つある動物
- 20 じゃんけんのパー

- 1 2年後から国民の祝日に加わります
- 2 人工……を敷いた球場左右に開閉する戸
- 3 将棋では香車のこと
- 4 夏の夕方から白い花を開き、翌朝しほみみす
- 5 一人で使う部屋
- 6 ビリヤードのことです
- 8 シマ……、エゾ……
- 11 この日から秋です
- 14 ……同体。……不乱
- 16 カニは……に歩きます
- 18 ……のカレー、……の

当選者（読者の声掲載者含む）10名様に図書カードを差し上げます
答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。（6月号の答え：カクレマンノミ）